

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）に関する意見募集の結果について

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）についてパブリックコメントを実施しましたところ、市民の皆様から貴重なご意見・ご提案をいただき、ありがとうございました。

皆様からいただきましたご意見等の概要と市の考え方をお示しします。

なお、ご意見等につきましては、内容を要約し、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、内容により分割するなどして掲載していますので、ご了承ください。

ご意見等をいただきました皆様には深く感謝いたします。

○実施時期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月15日（水）

○閲覧場所：市ホームページ，市役所（まちづくり政策課，生活安心課），市内各市民窓口事務所
市立図書館

○提出者数：32名

○意見数：48件

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
1	4-4	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅰ：ヒト中心の公共空間の再編</p> <p>基本的なコンセプトについては賛成であるが、「駅周辺のエリアにヒトの賑わいを創出する」ということが戦略のゴールだとするならば不足していると感じられる部分があります。</p> <p>一つは、駅前広場に行く動機をつくることである。</p> <p>駅前広場をつくったとしても人が来てくれるかどうかは、そこに行く動機があるかどうかにかかっている。人が集う場所としての例を挙げると、商店街、ショッピングモール、大規模な公園といったものになると思う。</p> <p>大規模な公園に何故行くかという、散歩やジョギングなどの運動をしたり、子供を遊ばせたり、豊かな自然を感じたいという動機があるからであり、駅前広場という規模でそれを求めるのは難しいと思う。</p> <p>では、どうすれば人が来てくれるか考えると、周辺に魅力的な商店街があればこれを目当てに人が集まる。特に買いたい・食べたいものが無くても、「何か新しい発見があるのでは」という期待が行く動機となる。そのため、個性的な個人商店が連なる商店街が必要となると思う。</p> <p>ただし、現在の仲見世商店街等はシャッターが閉まっている店も多く、魅力を高める以前の状態である。そのため、シャッターを開けないとペナルティを課すなどといったことを行わないとシャッター街状態の解消は望めないと思う。また、ウィンドウショ</p>	<p>本戦略では4つの戦略を掲げており、相互に深い関係性があります。ご意見にありますとおり、駅前広場など沼津駅周辺の公共空間をヒト中心の魅力的な空間に再編していくことに併せて、都市のスポンジ化が進行している商店街エリアにおいても既存ストックを活用したりノベーションまちづくりや街路空間の再構築を図っていくことなども必要であると考えています。</p> <p>このため、4つの戦略と戦略を実現する方策は、個別に取り組むのではなく、相互間の連携を密に図り、総合的に施策展開していきます。</p> <p>いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
		<p>ショッピングを楽しめるような店舗が少ないことから、現在、取り組んでいるリノベーションまちづくりは継続して進めてほしい。</p> <p>もう一つは、居場所を作ることである。</p> <p>サンウェル沼津の共有ミーティングコーナー、ブラサヴェルデのサロンやギャラリーなどには常に人が滞留している。これは、無料で机・椅子が利用できるためであり、そのような場所には人が集まる。</p>		

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
2	4-39	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅲ：まちなか居住の促進と市街地環境の向上</p> <p>方策4：駐車場マネジメント</p> <p>駐車場が有料ということは人を集めるうえで非常に大きな阻害要因である。現状の沼津駅周辺がまさにその状態だと思うが、特に用事がなければ絶対に車で行かない。ららぽーとやサントムーンなどといったショッピングモールは行く動機がある施設であるとともに、駐車場も無料である。</p> <p>せめてイトーヨーカ堂のように、店舗や施設を利用したら一定時間駐車場料金が無料となるようなシステムがない限り、沼津駅周辺に人を集めるのは難しいと思う。</p> <p>沼津駅周辺エリア全てで提携し、そうしたシステムができるのであれば、ちょっと行ってみようかな、という気持ちになるのではないか。</p>	<p>店舗利用等による一定時間の駐車場料金の無料化は、中心市街地の一部の駐車場で実施しており、中心市街地にヒトを集めることに寄与する有効な取組であると考えられます。</p> <p>しかしながら、近年沼津駅周辺においては、平面駐車場が増加しており、駅周辺エリア全ての駐車場を対象とすることは現実的には難しい部分があります。</p> <p>このことから、駅周辺が目的地となるような魅力的な場所とするため、公共空間再編の検討と併せて、駐車場の適切な配置等について検討していきます。</p> <p>駐車場の料金システムなどのご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無
3	ー	<p>車からヒト中心のまちづくりやまちなか居住の促進に向けて、スピード感を持って進め、沼津が変わるということを印象付けることが大切であると思う。</p>	<p>本戦略の「ヒト中心の公共空間の創出」の実現に向けて、道路等の公共空間を活用した社会実験などの試行的な取組を行うことにより、影響を見極めつつ、市民や関係機関との意識の共有を図り、その意見をフィードバックしながら段階的に実現性を高めていきます。</p> <p>また、「まちなか居住の促進と市街地環境の向上」の実現に向けて、都市型住宅の立地促進や市街地環境の向上に関するルール化や支援制度の構築についても、早期に検討に着手していきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
4	一	<p>沼津駅の南側には商店街も含め、建物の老朽化が進んでおり、大規模な地震が発生した際には大きな被害が予想されることから、このことを解決する施策も必要ではないかと感じている。</p> <p>再開発等により建て替えを行うなど、駅前の再整備にあわせた対応を駅周辺の地区の方に理解してもらうことが大切であると思う。</p> <p>中心市街地で再開発を計画している話があると聞いているが、モデル地区として市が積極的に対応していくことで、他の地域へ良い影響を及ぼすと思う。</p>	<p>中心市街地では建物の老朽化が進行していることは認識しており、建物更新が進まない中で近年は暫定的な土地活用を目的とした駐車場に転換されるなど、魅力ある市街地の形成の阻害要因となっています。</p> <p>ご意見にありますように、市街地再開発事業等による建物更新については、地権者の皆様のご理解が必要でありますので、市としましてもコミュニケーションを図りつつ、戦略の中で示すような建物と公共空間が一体となった魅力的で質の高い都市型住宅の誘導を目指していきます。</p>	無
5	一	<p>戦略の中にサッカースタジアムの構想がないことが気になった。</p> <p>以前報道で、貨物駅跡地と原地区に建設する2つの案を目にしたが、沼津駅に近い貨物駅跡地の方が経済効果を見込むことができ、価値があると思う。駅近くのスタジアム構想の具体化をお願いしたい。</p>	<p>本戦略では、鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業により生まれることになる、車両基地跡地、貨物駅跡地、高架下空間という鉄道施設跡地について、それぞれの「立地特性」を把握・分析し、ふさわしいと考えられる「検討すべき都市機能」について方向性を提示しました。</p> <p>ご意見にありますサッカースタジアムの検討につきましては、本戦略の検討過程にあるワーキンググループの場で議論がありましたが、その後上記のような「立地特性」を踏まえた検討を経ましたところ、最終的には他のふさわしい都市機能の提示という結果になりました。</p> <p>なお、サッカースタジアムの建設という形に限らずに、本市でも最もポピュラーなスポーツの一つであるサッカーに親しむ利活</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
			用につきましては、潜在的な市民ニーズが非常に高いと考えますので、引き続き、サッカーを通じたまちづくりについて検討していきます。	
6	4-4	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅰ：ヒト中心の公共空間の創出</p> <p>沼津市の将来像を示す必要があることは事実であり、その意味において「沼津市中心市街地まちづくり戦略」の提示は有意義であると考えます。</p> <p>中心市街地まちづくり戦略会議やシンポジウム等を傍聴し、沼津市の将来像について考えてみたが、将来像がみえてこない。沼津市の中心地が人間中心の都市空間であることは必要なことだと思うが、今回の戦略は人が集うスペースづくりのための戦略という部分が強調されており、スペースづくりだけでなく、経済活動を含めた施策が必要と考える。</p> <p>人間中心とは言え、将来にわたり一般車や業務車等の交通手段は欠くことの出来ないツールであり、経済活動を支えるための重要な手段であることに変わりないと思う。駅前道路で一般車や業務車の通行を制限し、公共交通のみ通行可能とした場合、経済活動は停滞する可能性がある。</p> <p>このため、駅の北側に商業地域を拡大することにあわせて、商業地域の容積率を1,000%、建蔽率を50%等に変更する都市計画の変更について提案する。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、自家用車による駅へのアクセスや業務車による店舗への荷捌きなどについては、経済活動を支えるために必要なものであると認識しています。</p> <p>このため、ヒト中心の公共空間を再編するにあたり、駅周辺への来訪を目的としない通過交通と、駅周辺への来訪を目的とするアクセス交通について、それぞれの特性を踏まえた交通再編を図ることとしています。</p> <p>駅や各街区へのアクセスを確保しつつ、駅まち環状内を通過する抜け道車両の流入を抑制し、通過交通とアクセス交通を整序することで、ヒト中心の空間再編を図り、市民や来街者が快適に集い、過ごすことのできる市街地を創出していきます。</p> <p>用途地域等の都市計画は、あるべき市街地像に対応した安定的な枠組みとして定めるものであり、将来市街地像に変更が生じた場合や土地利用の動向、公共施設の整備状況等の把握を踏まえ見直すものです。</p> <p>また、都市計画施設の整備や市街地開発事業の実施等により、合理的な土地利用の実現が確実となった場合には、都市における</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
		<p>これらにより、一区画の土地面積の拡大化や土地の集約化が進み、建物の高層化と同時に地下部分も発生するため、ここに駐車場を整備すれば人と車が一体となった経済活動が生まれる。</p> <p>また、建蔽率の低減化により地上部に空間が生まれるため、緑地帯とすることで緑溢れる市街地が形成されていく。</p> <p>さらに、活発な経済活動が展開されることにより、高層化建物に住宅やオフィス、店舗等の集約が可能となり、中心市街地の利便性が高まり、人の回帰が図られる。</p> <p>これら一連の施策は、現在の街並みを強制的に変換する為の施策を講じる必要はなく、鉄道高架化と同時に都市計画の見直しを行い、市民自らの努力により経済活動と居住環境の両立を促すことが重要である。</p> <p>鉄道高架化は絶好のチャンスであり、この時期を除いては都市計画の見直しが行える時は無いものと思われる。</p>	<p>都市計画上の課題に対応し、本市の健全な発展に資するよう、必要に応じて見直すこととしています。</p> <p>今後、本戦略に基づく先行的、試行的な短期的施策を行うことに並行して、長期の姿に関しても市民や関係者とともに具体的な検討を行い、事業の本格化に先立ち必要に応じて都市計画を変更していきます。</p> <p>いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
7	4-44	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅳ 周辺地域資源との連携</p> <p>方策1 周辺の地域資源を結ぶネットワークの充実</p> <p>沼津駅と沼津港を結ぶためのEVバスや自動運転バスを運行するほか、沼津市の顔となるべく、街路及び街路樹の整備を提案する。</p> <p>沼津駅から沼津港にかけて街路樹をヤシやソテツにすると海、南国のまち（セイルタウン）という雰囲気になる。また、駅前広場には海の雰囲気のあるオブジェ等を配置し、芝生広場で夏には白い砂を持ってきてビーチバレー大会を開催すると一層海らしくなると思う。</p>	<p>都市拠点の中心である沼津駅と観光拠点である沼津港をつなぐ街路は、本市のまちづくりを進めていく上で重要な街路であると認識しております。</p> <p>このため、本戦略において駅前広場をヒトが居心地よく滞留し、快適に交流できる都市の広場として整備することや、駅前街路の車線数を減少させ、ヒトと公共交通が優先された魅力的で高質な空間としていくことを目指しています。</p> <p>沼津駅と沼津港を結ぶEVバスにつきましては、昨年度の試験運行を踏まえ、今年度より民間バス事業者が運行を開始することになりましたが、街路等の整備については、今後検討していくこととなります。</p> <p>いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
8	4-44	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅳ 周辺地域資源との連携</p> <p>方策1 周辺の地域資源を結ぶネットワークの充実</p> <p>沼津市の宝は海であり、特に沼津港を観光、レジャーの拠点として整備することを提案する。</p> <p>今の沼津港は観光客が160万人以上来ているが、食事とお土産を購入するだけの場所になっている。このため、沼津港から内浦や大瀬崎、戸田へ船による移動を充実させることや、狩野川をカヌーやSUPで下ってきた人達を沼津港でピックアップし別の場所へ移動させるなど、観光・レジャー施設をつくれば様々な活用が期待できる。</p> <p>マリンレジャーの充実したまちになると、それをやりたい人達が集まり、それを教える指導員も集まる。このことは、空き家対策として有効な手段となると思う。</p> <p>また、2019年7月19日にふね遺産の認定を受けたヘダ号を再建し利用することで、観光はもとより海、船、伊豆の歴史も含め幅広い活用が考えられる。</p> <p>さらに、フェリーを使った海上交通で沼津と松崎を結ぶことで、伊豆半島の回遊性を高め、沼津が伊豆の玄関口となり活性化が期待される。</p>	<p>沼津港の拠点整備については、「沼津港みなとまちづくり推進計画」において、「港」だけでなく、周辺の「まち」とも連携し、港とまちの魅力を高めるとともに、陸・海の交通の要所として、人・物・情報が地域とつなぎ、周辺地域に活力を波及させる役割を果たすことが将来像として掲げられています。</p> <p>沼津港が海の玄関口として、また観光交流拠点として、周辺地域との結びつきを強め、県東部・伊豆地域の発展の核となるよう、官民連携のもと拠点整備を進めているところです。</p> <p>いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
9	4-44	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅳ 周辺地域資源との連携</p> <p>方策1 周辺の地域資源を結ぶネットワークの充実</p> <p>千本浜に白い砂を入れて、市民及び観光客が集えるような浜の整備を提案する。（千本浜ワイキキビーチ化戦略）</p> <p>ハワイのワイキキビーチにはもともと砂浜はなく、1920年代から1930年代にかけて、オアフ島のノースショアなどから砂浜を運んでつくられた人工の砂浜である。</p> <p>沼津市においても白い砂浜の「らららサンビーチ」があり、毎年家族連れを中心ににぎわっている。</p> <p>千本浜の最も外港寄りでは、沖合の潜堤によって砂が留まり、砂浜が形成されているため、千浜に白い砂を入れても十分、ホワイトビーチになると思われる。</p> <p>白い砂浜があると、浜でのんびり日光浴や海水浴をする人が増加すると考えられる。また、防潮堤と防風林の一部をきれいにする事で、テントなどの簡易建物は設置しやすくなると思うため、狩野川の階段堤のように活用することで、観光客のみならず地元の方々もくつろげる場所になると思う。</p>	<p>いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
10	4-44 4-45	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅳ 周辺地域資源との連携</p> <p>狩野川の遊歩道は車の通行がなく、安心して散歩やジョギングを行うことが出来るため、休日にはリフレッシュに活用している。また、子供たちを連れて散策する際も安全に利用できることから、大変貴重な空間であると考えている。</p> <p>そのような中、今回この計画を拝見して、唯一整備されていない黒瀬橋のアンダーパスが整備されることや、下河原地区の堤防に照明が設置されることが計画されていることに、大変期待している。</p> <p>戦略に記載されているとおり、狩野川という地域資源は自然豊かで、魚や水鳥も生息している。また、夜間の堤防照明は堤防上を利用する方の安全性の向上だけでなく、美しい景観が生まれることにも繋がるのではないかと思う。</p> <p>全国市町の人口が減少するなか、狩野川という資源を活用していくことで、水辺空間と一体となった魅力的なまちなみが生まれ、住みたい街に沼津市が変化するのではないかと期待している。さらには、沼津港を訪れる大勢の観光客が、沼津港の観光だけでなく、沼津駅から市内を周遊する、沼津市を観光するというスタイルに発展することにも期待している。</p> <p>狩野川という水資源を活用し、水辺空間と一体となった魅力的なまちなみ形成についても、計画に記載してほしい。</p>	<p>中心市街地周辺にある多彩な地域資源は、本市のまちの個性であり貴重な資源であるため、これらの地域資源と連携を図り、まちの魅力を向上させていくことが重要であることから、本戦略において地域資源とのアクセス性や回遊性を高めるネットワークの充実を図ることとしています。</p> <p>いただいたご意見のとおり、狩野川という水資源を活用し、水辺空間と一体となった魅力的なまちなみ形成は、まちの魅力の向上に資するものであることから、4-45頁に以下の文言を追加します。</p> <p>・本市においても、これまで狩野川沿いの遊歩道や蛇松緑道など、こうしたネットワーク整備を図ってきましたが、現在でも、一部にミッシングリンクが残されています。そのため、関係機関や地域住民と連携しつつ、これらを接続し、歩行者、自転車による快適な回遊ネットワークの充実を図るとともに、<u>水辺・緑と一体となった魅力的なまちなみ形成を図ります。</u></p>	有

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
11	4-24 4-26	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅱ：拠点機能の立地促進</p> <p>沼津市が将来にわたり、県東部地域の中核的な役割を担う都市として存在意義を高めるとともに、人口の流出を抑制していくためには、大学等高等教育の場の創出が有効であると考えます。専門知識を学んだ人材の確保や若者がまちなかに増えることで、にぎわいが生まれ、地域の活性化に大きく寄与するものであることから、鉄道施設跡地への大学等教育機関の誘致を切に望みます。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、本市において若者の流出や人材不足などが問題となっていることは認識しており、本戦略で「高校・大学ギャップ」（高校が多数立地しているのに対し、大学など高等教育機関の数が少ない）を改善するため、車両基地跡地の活用として、立地ニーズが見込める場合には、高等教育機関なども候補に含め、立地可能性の検討を行うこととしております。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、よりわかりやすい表現とするため、4-24 頁及び 4-26 頁に以下の文言を追加します。</p> <p><4-24 頁></p> <ul style="list-style-type: none"> 沼津駅に近接する利便性の高さを活かし、例えば市役所や広域的な医療施設など、まずは市民の利便や拠点形成に資する公共公益施設の導入を検討します。また、土地利用ニーズが見込める場合には、<u>大学等</u>の高等教育機関や先端産業機能も選択肢に加え、検討を進めます。 <p><4-26 頁></p> <ul style="list-style-type: none"> また、本市が抱える高校・大学ギャップ（高校が多数立地しているのに対し、大学など高等教育機関の数が少ない）を改善するための活用も考えられることから、立地ニーズが見込める場合には、<u>大学等</u>の高等教育機関や先端産業なども候補に含め、立地可能性の検討を行います。 	有

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
			<p><4-27 頁></p> <p>（地域競争力の強化）</p> <p>・沼津の若年人口を確保し、産業競争力を強化する視点からは、高校卒業後の若者の流出を抑制するとともに、地域産業を支える人材育成に資する大学等の高等教育施設、産業の活性化に資する先端産業関連施設などの立地が望まれます。</p>	
12	4-4	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅰ：ヒト中心の公共空間の創出</p> <p>本戦略の主旨は、駅前を車中心から歩行者中心に、ということだと大きくは理解したが、現状、車社会であることは厳然とした事実であり、一足飛びに変われないと思う。</p> <p>車もいくつかは大別すべきではないか。「自家用車は誰かを送迎しすぐに駅周辺から遠ざかるもの、バスは電車などへの乗り換えが中心、タクシーは駅から目的地へ離れていく、もしくはその逆、自転車は駅まで来てバス・電車利用」が大半であると思う。現在は、これらの交通が全てロータリーに集中している。</p> <p>このため、これら交通を「自家用車はスループットを高める配置、バスは駅へのアクセス性を高める配置、自転車は乗り換えの利便性が高い配置」にしたらどうかと思う。要は交通動線を区分すべきである。それぞれの車両の台数、移動・滞在時間、スピードが異なるので、これまでのロータリーというだけの発想ではうまくいかないと思う。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、歩行者中心の空間に再編するためには、一般車、公共交通（バス・タクシー）、自転車の交通手段ごとの動線を踏まえて検討する必要があると認識しております。</p> <p>このため本戦略では、一般車は駅や駅周辺へのアクセス交通の確保、公共交通は駅への高いアクセス性の確保や速達性・利便性の向上、自転車は駅に快適にアクセスできるよう自転車走行空間の充実や駐輪場の配置等、交通手段ごと考え方を整理して検討していくこととしています。</p> <p>公共空間の再編やこれを実現するための地区交通体系の再編については、今後検討することとなりますので、いただいたご意見を参考しながら検討を進めていきます。</p> <p>また、ヒト中心の魅力的な空間の創出にあたっては、空き家対策計画やリノベーションまちづくり、個店支援の施策などと連携を図りながら検討を進めていきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
		<p>また、歩行者を中心としたエリアしていく方針は、表面的には良く感じるが、具体性が低くイメージが持ちにくい。</p> <p>歩いて楽しくなければ、所詮人は出向かないため、魅力あるまちづくりが大切である。これは、空き家対策計画などとも併せて対応していくべきであると思う。例えば、空き家の固定資産税を極端に上げる、安価な賃貸収入には優遇税制を適用するなどすれば家賃を下げ入居者が増えるようになると思う。</p> <p>個人商店の商品開発も促進しないと魅力的なまちはできないと思う。散歩だけでは活性化しないのでは。</p>		
13	一	<p>中心市街地に多くの人を集めるために、全世代が楽しめるイベントを増やすべきである。</p> <p>沼津の特産である「みかん」を使ったグルメイベントを駅周辺や狩野川沿いで行うことで、全世代が楽しめるイベントとなり、人が集まるとともに、沼津の知名度がアップし、観光客の増加も見込めると思う。</p>	<p>本市では、中央公園で「THIS IS NUMAZU-沼津自慢フェスタ」開催し、また、狩野川階段堤では「かのがわ風のテラス」として、オープンカフェやバーベキュー、イベント等を行うなど、これまでも公共空間をにぎわいづくりのために活用してきました。</p> <p>これらの取組を継続していくとともに、沼津駅周辺のように多くの市民が日常的に集まる場所においても、快適で質の高いオープンスペースを創出することで、都市の魅力向上やにぎわいづくりに努めていきます。</p> <p>いただいたご提案については、今後公共空間の活用方策を検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
14	一	<p>駅周辺には、子供が安心して遊べる公園や子育て支援施設などの福祉施設が少ないと感じている。</p> <p>このため、鉄道高架事業によって生まれた土地を活用して、子供が遊べて地域の人と交流できる公園の整備や福祉施設・子育て支援施設などを立地させ、高齢者や子育て世代が安心して暮らせるやさしいまちにしてほしい。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、まちなか居住を促進するにあたり、駅周辺には公園や子育て支援施設などが少ないことは認識しており、本戦略では鉄道施設跡地や高架下空間を活用し、公園や生活を支える都市機能の導入について検討することとしています。</p> <p>鉄道施設跡地等への都市機能導入については、立地特性や周辺の土地利用を踏まえるとともに、いただいたご意見を参考しながら検討を進めていきます。</p>	無
15	一	<p>アニメ「ラブライブサンシャイン」によりにぎわっている内浦（淡島）へのバスの本数を増やすことで、沼津に来る人が増えると思う。</p> <p>また、若者や高齢者が駅周辺に行きやすくするため、バスの本数を増やし、乗り場を分かりやすくするなど、バスの充実を図ってほしい。</p>	<p>公共交通の確保・維持・改善を図るため、現在「沼津市地域公共交通網形成計画」の策定を進めています。</p> <p>バス事業者はドライバー不足が深刻化しており、運行しているバスを維持することが最優先となっていますが、今後は本計画に基づき、重複路線の解消やダイヤの調整などにより効率化を図り、サービス水準の向上に努めていきます。</p> <p>また、沼津駅南口バスターミナルや各バス停についても待合環境などを見直し、わかりやすく使いやすい環境を整え、公共交通の充実を図っていきます。</p>	無
16	一	<p>沼津駅南口で子供と過ごすことのできる場所や、また沼津に来たいと思える場所があると良いと思う。</p> <p>沼津の特産である「みかん」のPRや「みかん」の加工品などを販売できるカフェ（カフェにはキッズスペースが設置）などが入った「オレンジミュージアム」を駅近くに整備することで、</p>	<p>いただいたご意見のとおり、子供と過ごすことができ、また沼津に来たいと思えるような魅力的な空間を駅周辺に創出することが重要であると認識しており、本戦略で駅前広場を市民や来街者が居心地よく滞留し、快適に交流できる「都市の広場」として再整備を図ることとしています。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
		幅広い年代が集まれる場所になるとともに、沼津に立ち寄るきっかけになると思う。	<p>また、沼津駅周辺総合整備事業により鉄道跡地などが生まれるため、地域の発展に資する都市機能の導入を検討していくこととしています。</p> <p>駅前広場の整備や都市機能導入については、今後具体的に検討することとなりますので、いただいたご意見を参考しながら検討を進めていきます。</p>	
17	一	<p>シャッターが閉じた店を1つでも減らして、店を充実するなどし、中心市街地に多くの人に来てほしいと思えるようにすることが大切であると思う。</p> <p>沼津には学生が多いため、これを活かして、学生が気軽に立ち寄れる店を増やし、中心市街地ににぎわいを生み出してほしい。</p>	<p>本市では、空き家や空き店舗、空きビルなどの既存ストックについてリノベーション手法を活用することにより、遊休不動産の再生と雇用等を掛け合わせ、新たな産業振興と地域コミュニティを図る「リノベーションまちづくり」を推進しています。</p> <p>引き続きこうした取組を推進し、中心市街地の魅力向上を図っていきます。</p> <p>いただいたご意見については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無
18	一	駅周辺が目的地となるよう、駅舎等と駅前広場が一体となった魅力的な空間とするとともに、駅周辺で歩行空間化の社会実験や各種イベントを実施してほしい。	本戦略では、駅前広場を単なる移動上の通過点ではなく、市民や来訪者が居心地よく滞留し、快適に交流できる「都市の広場」として再整備するとともに、駅前広場と鉄道高架事業に伴い整備される駅舎や駅ビルが一体となった、質の高いシンボル空間の形成を図ることとしています。	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
			<p>駅前広場、駅舎、駅ビルのトータルデザインによる、質の高い空間整備が実現できるよう、関係機関と連携して検討を進めていきます。</p> <p>また、駅周辺の公共空間再編にあたっては、引き続き社会実験を実施し、快適で楽しい歩行者中心の空間を市民の皆さんに体験していただくとともに、具体的な検討を進めていきます。</p> <p>いただいたご意見については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	
19	一	若者や子育て世代の遊び場や癒しの場がないため、千本浜に水上アスレチックや商店街にスポーツの観戦・スポーツができる施設を整備してほしい。	いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。	無
20	4-9	さんさん通りの車線数減やトランジットモール化・フルモール化については、駅へのアクセスのみならず、市民生活、日常の経済活動に大きな影響が懸念されることから、早めの周知をお願いしたい。	<p>本戦略では、南口駅前広場へのアクセス街路であるさんさん通りをヒトと公共交通が優先された空間として再編していくことを示しました。再編にあたりましては、今後、社会実験等の実施により様々な影響を見極めながら、公共交通事業者、商店街関係者、交通管理者、公共施設管理者、利用者（市民）など、関係者との連携・調整の下に、検討を進めていきます。</p> <p>こうした過程の中で、短期の段階から本戦略の考え方を幅広く周知するとともに、意見の反映に努めていきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
21	4-32	<p>マンションや駐車場の扱いは、新設・既設ともに、利害を伴い、状況の異なる案件が多数存在することから、大きな政策課題となるであろう。このことから、地域ごと個別に周知を図り、課題認識を共有できる場づくりが必要になると思う。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、まちなか居住の促進や市街地環境の向上に資する都市型住宅とこれに付帯する駐車場のあり方は政策的な課題であると認識しています。</p> <p>このため、次年度以降も「中心市街地まちづくり戦略会議」を検討のプラットフォームとして、多様な関係者が参画した体制のもとで検討を進めるとともに、戦略ごとにワーキンググループを開催することで、検討の深度化を図っていきます。</p> <p>こうした過程の中で、短期の段階から本戦略の考え方を幅広く周知するとともに、意見の反映に努めていきます。</p>	無
22	ー	<p>今できることとして、沼津駅に南北の自由通路をつくり、「観光」をアピールしたまちづくりを進めてほしい。駅を降りたところに、観光コースや文学コース、歴史コースを示した大きな観光看板を設置してはどうか。</p> <p>また、近い将来には、「観光をアピールした駅舎・駅前」、「駅から香貫山へのロープウェイの設置」、「狩野川から御用邸公園まで水陸両用バスの運行」、「上段をイベント広場とした2階建ての駅前広場」を実現したい。</p>	<p>本市の中心市街地の周辺には、狩野川や沼津港、香貫山といった様々な地域資源があります。このため、歩行者や自転車、公共交通による快適なネットワークを形成することにより、中心市街地からのアクセス性や回遊性を高め、市民をはじめ来訪者の利便性の向上を図っていきます。</p> <p>また、駅前広場については、市民や来訪者が居心地よく滞留し、快適に交流できる「都市の広場」として再整備していくこととしています。</p> <p>今後具体の検討を進めていくこととなりますので、いただいたご提案は参考とさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
23	一	<p>中心市街地のまちづくりにおいて、行政も中心市街地にいないてはいけないと感じる。市役所も老朽化が進んでいることから、近い将来、建て直しもしくはどこかへ引っ越すことになると思うが、その候補地として、理想図はあるが現状開発が進んでいない町方町を推薦したい。市役所が中心市街地に移転することにより人が集まり、また、市役所だけでなく公園も併設することで、中心市街地に中央公園に次ぐ広大な公園をつくることができると考えます。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、市民の利便性の向上や集客効果等の観点から多くの市民が訪れる市役所が中心市街地に立地することの有用性は認識しています。</p> <p>本戦略では、沼津駅に近接すると同時に都市計画道路沿いに位置するなど、高いアクセス性を有する大規模な敷地であることから、沼津駅周辺総合整備事業によって新たに生み出される車両基地跡地の活用方策として、まずは市役所等の重要な公共公益施設の立地の可能性を検討していきます。</p>	無
24	一	<p>蛇松緑道は、沼津駅南口から沼津港の手前まで歩いていくことが可能であるが、そのことが観光客に周知されていないと思う。</p> <p>文学のみちは、現在は車移動の裏道として使われているが、この道の車の往来を禁止し、歩行者や自転車、次世代のマイクロモビリティ用に整備された道路に変更してはどうか。沼津の南側をまんべんなく周遊できるように工夫すべきだと思う。</p> <p>市民文化センターから霊山寺へ行く道路は歩道がほぼなく危険であるので、香貫山への動線を確保するために、歩道をつくってほしい。また、狩野川の堤防から黒瀬橋を通り香貫山へ行く道も初見の人が迷わず行けるように案内板等の整備をしてほしい。</p>	<p>蛇松緑道や文学のみち等は、中心市街地とその周辺の地域資源をつなぐ歩行者・自転車ネットワークとして、重要なルートであると認識しております。</p> <p>このため、これまで整備を進めてきた歩行者・自転車ネットワークの一層の周知を図るとともに、繋がっていない区間（ミッシングリンク）となっている箇所について、関係機関や周辺住民と連携しつつ、これらを接続し、歩行者・自転車による快適な回遊ネットワークの充実を図っていきます。</p> <p>いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
25	ー	<p>第二地区は海との距離が近いことため人の流失が止まらず、子どもの数は全盛期に比べると明らかに減っていることから、人口最盛期に増やした学校はそろそろ統合する時期に入ってきたと感じる。</p> <p>そこで、近い将来統合されるであろう第二小を未来のために有効活用できるよう議論する必要があると思う。第二小は沼津港に近く、中心市街地からも徒歩圏であることから、「第二小学校道の駅」をつくり、観光客誘致や足りない駐車場確保のひとつの手段として活用してはどうか。また、3校が連なった千本小、第二中、西高の将来の使い方についても考える時期に来たと思う。</p>	<p>本市では、公共施設等の最適化に取り組み、これらに係る中長期的な経費を軽減・平準化するための基本的な方針や手法を示す「沼津市公共施設マネジメント計画」を平成29年3月に策定し、現在、当該計画に基づく個別施設計画の策定に取り組んでいるところ。学校の統廃合や、その将来的な活用方法等については、公共施設マネジメント計画や個別施設計画での考え方を踏まえて、今後検討していきます。</p> <p>いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無
26	ー	<p>今後100年間で気温上昇していくことは確実である。特に都市部は構造上、気温がたまりやすく、上昇幅が最も大きくなるホットスポットとなる。今後、戦略に基づき都市部を再編し一部に緑地を設けても全体としてはコンクリートジャングルであることに変わりない。20～30年後には、この視点が考慮された構造になっていなければせつかくのオープンスペースは「過酷な路上」となり賑わいが限定される。</p> <p>このため、対策として「①道路や建物の緑化」、「②道路や建物への遮熱材・塗装」、「③中水を使用した道路・建物散水システム」、「④都市上空から見た風の回廊（風がどう抜けるか）の設定」などを行うべきと考える。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、ヒートアイランドの緩和については、重要な視点であり、沼津駅周辺のまちづくりにおいても取り組むべきものと考えられます。このことから、駅前広場等の公共空間の再編にあたっては、緑化等の充実を図り、環境負荷の低減が図られるよう検討を進めていきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、以下を追加します。</p> <p><3-6>に追加</p> <p>⑧低炭素型のまちづくり</p> <p>これまでの急速な都市化の進展に伴い、自然環境の減少や自動車依存型の都市活動により環境への負荷が増大し、地球温暖化をはじめとする様々な環境問題が生じてきていること</p>	有

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案） 修正の有無	
		<p>戦略への記載としては、「サステナブルな都市」を「戦略Ⅴ」として新設し、環境に配慮する観点と防災力を高める観点の二本立てにする。</p> <p>地球規模気温上昇予測には幅があり、複数のシナリオが想定される。最もひどいシナリオに合わせる必要はないが、コンパクトなまちづくりを進めるならば、都市部のヒートアイランド対策についても考慮すべきと考える。</p>	<p>から、環境への負荷の少ない低炭素型のまちづくりが求められます。</p> <p>このことから、潤いとやすらぎといった環境保全や景観形成のみならず、地球温暖化やヒートアイランドへの対応にもつながる市街地の緑化を図るとともに、自動車に過度に依存しない社会へ向け、公共交通を中心とした快適に歩いて暮らせるヒト中心の都市環境を形成することが重要と考えられます。</p> <p><4-4>に追加 【駅を囲む都市基盤の現状と将来】 ・既存の緑を保全するとともに緑化を推進し、環境負荷の低減や都市環境の向上を図ります。</p> <p><4-34>に追加 【検討の視点】 ・戦略Ⅰにおける都市空間に緑を確保することとあわせて、都市の余剰空間に緑化を推進することで、居心地良く歩きたくなる空間や潤いのある良好なまちなみが形成されるなど、市街地環境の向上が図られます。このことにより、ヒト中心のまちづくりやまちなか居住が促進されるとともに、地球温暖化といった環境問題への対応につながることも期待されます。</p>	

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
27	4-39	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅲ：まちなか居住の促進と市街地環境の向上</p> <p>方策4：駐車場マネジメント</p> <p>戦略Ⅲの方策4に「駐車場が物流・荷捌きを支えるハブ・スペースとしての役割を担う」という記載があるが、物流・荷捌きについてはもっと記載を厚くし、今後研究していく分野という位置づけにしたい。戦略会議メンバーに旅客関係の方もいるが、将来的には運送物流業界の現場に丹念にヒアリングを重ねたほうが良い。</p> <p>戦略に示されている「沼津駅南口駅前広場周辺の将来イメージ」については、イベント時であっても恒常的な状態であっても、荷捌きスペースをどのように入れるかが課題である。沼津の玄関口が華やかになっても一本裏に入れば荷下ろしの違法車両ばかりとなっては良くない。</p>	<p>ヒト中心の公共空間再編にあたっては、市街地の都市活動を支える物流・荷捌き交通への対応が必要となるため、本戦略では、時間規制等の地域ルールや荷捌きスペース・動線の確保について検討することとしています。</p> <p>物流・荷捌きについては、実態調査や物流関係者等へヒアリングを行いながら、詳細な検討を行っていきたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
28		<p>沼津駅の高架化を契機として、コンパクトな都市構造を構築するとともに、駅周辺を人間中心の都市空間とすることを目指して、駅まち環状内の交通体系の再編や駅前広場の歩行者広場化などの具体的な施策は、今後の中心市街地の発展のベースになるもので期待できる内容だと思う。</p> <p>より一層少子高齢化が進む日本において、中心市街地をコンパクトな都市空間に再編し、今後、発展していくためには、そこに人が住み、集まることで活気が取り戻せると思う。</p> <p>そのためには、戦略（案）に記載されている施策に加え、民間投資を活発に呼び込む施策が必要不可欠であると思う。また、民間の投資を呼び込むためには、中心市街地における大胆な規制緩和が有効な手段であると考え。具体的な手段としては、建築物の日影規制及び高さ制限の廃止、建築物の容積率の大幅な緩和だと思う。</p> <p>現在の駅周辺の容積率は一部を除き 500%となっているが、現存する建築物は容積率が指定される前に建築されたものが多く、その容積率は 1,000%近くになっており、「総合設計制度」等を活用しても 700%程度が限度である。この容積率では、今後建替えを模索していく中で十分な投資効果の発現が困難であると思う。上層階を住宅、低層階を高度なサービスと商品を提供する物件を誘致させるには、駅まち環状の内側の容積率を 1,000%以上にすることが必要である。</p>	<p>容積率等の都市計画は、あるべき市街地像に対応した安定的な枠組みとして定めるものであり、将来市街地像に変更が生じた場合や土地利用の動向、公共施設の整備状況等の把握を踏まえ見直すものです。</p> <p>また、都市計画施設の整備や市街地開発事業の実施等により、合理的な土地利用の実現が確実となった場合には、都市における都市計画上の課題に対応し、その健全な発展に資するよう、必要に応じて見直すこととしています。</p> <p>今後、本戦略に基づく先行的、試行的な短期的施策を行うことに並行して、長期の姿に関しても市民や関係者とともに具体的な検討を行い、事業の本格化に先立ち必要に応じて都市計画を変更していきます。</p> <p>いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
		<p>戦略（案）に示す公共空間の再編などは、中心市街地の発展に有効な案となっていると思うので、それに加えて容積率の緩和を行い多くの民間投資を呼び込むことで、沼津市が目指すコンパクトで人間中心の都市空間を実現させてほしいと思う。</p>		

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
29		<p>あまりにも壮大で現実をかけ離れた計画であり、言葉がみつからない。</p> <p>いくら駅前がきれいになり、広場ができて、楽しげに見えても、これらにより豊かに暮らせる市民はどれだけいるか。駅前や中心市街地に住んでいる人ばかりではない。</p> <p>子供達の保育・教育、高齢者の交通の確保、道路の整備、ゴミ焼却場・市役所の老朽化、長い海岸線を抱えた災害対策など、市内を見渡しても中心市街地よりも先に手をつけなければならないところが山積みだという認識はあるのか。</p> <p>まず中心市街地より先に全体を見渡して、本当に市民が喜ぶことは何かという原点に立ち返ってほしい。それなら、市民も参加、参画しようと思う気持ちになると思う。</p> <p>駅前に楽しい場所があるより、仮設南北自由通路をつくるのが可能ならば、それで十分だと思う市民は多いと思う。この戦略を読んで理解して参加しようという市民がどの位いるのか、未だに疑問である。</p> <p>あまりにも時代を見ていない、そして、市民生活を見ていないと思えるこの戦略を進めようとしていることに疑問を感じる。貧困や格差が問題となっているこの時代に、多くの市民の暮らしが守れないのであれば、何のための戦略なのか。子供達の将来、沼津の将来をこの戦略が担っていくのか。</p>	<p>本市の中核的な事業である沼津駅周辺総合整備事業は、今後本格的に事業展開する段階を迎えます。本市の積年の課題である南北分断が解消され、併せて鉄道施設跡地を活用した拠点整備が展開されるなど、まちが大きく変わろうとしていることから、これを契機として、中心市街地を魅力ある場所へと再生するため、本戦略を策定するものです。</p> <p>これまでも、鉄道駅を中心に多様な都市機能が集積し、その周辺に住宅地が広がる比較的コンパクトな都市構造を構成し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを進めてきましたが、人口減少、少子高齢化の進展など社会情勢が変化してきました。</p> <p>そこで本市では、持続可能なまちづくりを進めていくため、都市計画マスタープランや立地適正化計画にコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めていくことを位置付け、都市計画だけでなく、公共交通、住宅、公共施設、医療・福祉、子育て、教育などまちづくりに関する様々な分野について連携し、地域の課題に応じた取組を行い、安心して住み続けられるまちを目指しています。</p> <p>本戦略は、沼津駅周辺総合整備事業と併せて取り組むべき施策の方向性を示しているため、市民生活のすべての分野については触れていませんが、分野ごとの計画に基づき検討を進めています。</p> <p>いただいたご意見については、市政運営に対するご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
30	ー	「中心市街地＝まちなかの範囲」というとらえ方について、中心市街地とはどの範囲なのか、はっきりと線は引けないと思うが、駅からおおよその範囲を明示する必要があると思う。	<p>本戦略は、沼津駅周辺総合整備事業と併せて実施すべきまちづくりの施策や中心市街地周辺の地域資源との連携を強める施策など、中心市街地のみならず都市全体の発展に繋げる観点から策定しているため、戦略の対象範囲を示していません。</p> <p>参考となりますが「沼津市中心市街地まちづくり計画」における中心市街地の範囲は、都市機能の集積状況などから沼津駅を中心に約1kmの範囲としています。</p>	無
31	4-4 ～ 4-14	「ヒト中心」をうたっているが、人と車・公共交通がうまく融合できてはじめてヒト中心が生きてくる。車を一方的に締め出すのではなく、人と車が適度に混在することで、にぎわいが創り出されると思う。例えば、車を止めて買い物ができる、車を止めて人を乗せる・降ろすなど、人と車がうまく共存することによって活気が生まれる。	<p>現在の駅周辺街路は、駅や駅周辺への来訪を目的とせず、通り抜ける通過交通が多くを占めていることから、本戦略ではその通過交通を駅まち環状に受け持たせ、駅まち環状の内側をヒト中心の空間再編を図ることとしています。</p> <p>ヒト中心の市街地の創出にあたっては、駅や各街区へのアクセスを確保しつつ、駅まち環状内を通過する抜け道車両の流入を抑制し、通過交通とアクセス交通を整序することで、ヒト中心の空間再編を図り、市民や来街者が快適に集い、過ごすことのできる市街地を創出していきたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
32	4-32 ～ 4-40	<p>まちなか居住は「魅力あるまちなか」が前提となるが、その魅力をどう創出するか。「まちなか居住」と「魅力あるまちなか」は車の両輪として並行して進めていく必要があるのではないかと。《魅力あるまちなかの創出》</p> <p>○中心市街地のすぐ近くに狩野川が位置しており、これ程の水辺のオープンスペースがある都市は稀有であり、これこそ沼津らしさ・沼津の個性である。これを活かすための方策、仕組み、仕掛けが必要ではないか。</p> <p>○沼津のまちなかには、優れた近現代建築、歴史的建造物、伊豆石蔵など沼津の文化というべき貴重なものが数多く残されている。それらの建造物をまちづくりに活かし魅力をさらに高めていくことが必要はないか。</p>	<p>本市の中心市街地は、狩野川、香貫山、千本浜などの自然環境が近接していることが魅力であり個性であると認識しています。</p> <p>狩野川につきましては、階段堤を整備することにより「かのがわ風のテラス」として、オープンカフェやバーベキュー、イベントの実施など、にぎわいづくりに活用しているところです。</p> <p>これらの取組を継続していくとともに、ご意見にありますように日常的に人々が利活用できる方策、仕組み、仕掛けなどについて検討していきます。</p> <p>本市では、既存ストックについてリノベーション手法を活用することにより、遊休不動産の再生と雇用等を掛け合わせ、新たな産業振興と地域コミュニティを図る「リノベーションまちづくり」を推進しています。これまでの取組の中では、狩野川沿いの石蔵を利用した珈琲豆焙煎所や、蔵の上の建築物をゲストハウスにリノベーションして新たな魅力を生み出しています。</p> <p>引き続きこうした取組を推進するとともに、いただいた意見を参考に歴史的建造物などを活かした中心市街地の魅力向上について検討していきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
		<p>○まちなかの魅力アップのために、デザインの質を高めていくことが必要である。建築のデザイン、街路等の公共施設のデザイン、景観のデザインを優れたデザインに誘導していくこと、まちなか全体のデザインコントロールをしていくこと、デザインコーディネートしていく仕組みを構築することが必要である。</p> <p>○まちなかを多様な機能が感じとれる場所にしていく。駅前は交通のターミナルだけではない。商店街は買い物をする所という固定観念を払拭する。人々が集まり交流し休憩し、おしゃべりし、おしゃれする、ワクワクする場所につくり変えていく。郊外の大規模店舗にはない、商店街という「一つ屋根の下」の空間の良さを共有できる場所にしていくことが必要である。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、中心市街地の魅力を高めるためには、官民が連携して公共空間と建築物が一体となった質の高いまちなみ景観を形成することが重要であると認識しています。</p> <p>このため、本戦略では公共空間と隣接する建築物や街区との連続性を重視し、公共空間と周辺のまちが一体となって質の高い空間の形成を図ることとしています。</p> <p>いただいたご意見については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p> <p>いただいたご意見のとおり、駅周辺に人が集まり、滞留し、交流できるような駅前広場を整備していくことや、街路をヒト中心の公共空間に再編していきたいと考えています。また、商店街と連携を図り、市民や来街者等が快適に集い、過ごすことのできる市街地を創出していきたいと考えています。</p>	

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
33	5-6	<p>市民の参画はまちづくり戦略をすすめる上で大変重要で、「市民の参画」について、市民、関係地権者・事業者、まちづくりの担い手の3つに分けて述べられていることは評価できる。そのなかで「まちづくりの担い手が育成されるプロセス」とはどのようなことか、もう少し具体的な説明はできないか。</p>	<p>中心市街地のまちづくりにおいては、現在の車中心の公共空間をヒト中心の空間に再編し、有効活用することによりにぎわいや憩いを生み出していくことを目指しています。</p> <p>このため、今後、沿道地権者等の意識が高まるエリアで具体的な検討を行う際には、まずは周辺住民をはじめ意欲ある民間事業者とのコミュニケーションを図りながら実現性のあるビジョンを共有しつつ、エリア内の景観・デザインの統一やまちの美化、公共空間を活用したにぎわい収益事業の実施などにより地区の魅力を高めるエリアマネジメントを行っていけるような担い手を育成していきたいと考えています。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
34		<p>仲見世コミナード通り(ワシントン靴店～上本通り)は、沼津市の行政指導に基づいて、沼津市の提案する『人と車の調和』を、開発テーマとしてジグザグの「蛇行道路」ができあがった。</p> <p>しかしながら、沼津市は「郊外へ都市機能を移転」し、ドーナツ化現象が起こり、中心市街地の空洞化が進み、個店の力不足も有り、人通りが減った。</p> <p>中心市街地まちづくり戦略による、「駅前の人中心のまちづくり」には、基本、反対である。</p> <p>なぜならば、沼津駅の人と車の利便性の向上が絶対条件だと思うからである。沼津駅という本来の本質である環境対策を考えた上での乗降客の増大、自動車の出入りの増大を見据えて実行する事が大切だと思います。駅前通りの公園化は、やり過ぎてはダメだと考える。</p>	<p>本市が目指すヒト中心の公共空間とは、単に車利用の利便性を阻害するものではなく、駅周辺への来訪を目的としない通過交通と、駅周辺への来訪を目的とするアクセス交通について、それぞれの特性を踏まえて交通体系の再編を図ることで創出するものです。駅や各街区へのアクセスを確保しつつ、駅まち環状内の区画街路を抜け道として通過する車両を抑制するなど、通過交通とアクセス交通を整序することで、ヒト中心の公共空間再編を実現し、市民や来訪者が快適に集い、過ごすことができる市街地を創出していきたいと考えています。</p> <p>なお、空間・交通再編の具体化にあたっては、公共交通事業者、商店街関係者、交通管理者、公共施設管理者、利用者（市民）など、関係者との連携・調整の下に検討を進めるとともに、周辺交通への負荷や物流・荷捌き、来街者の利便性等の想定される様々な影響について、社会実験を行いながら検証していきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
35		<p>数年前の沼津駅の高架化が出来た際の完成図面に於いては、改札口の下南北交通道路で「タクシー、バス」の通り抜けが出来ず、今までとおりに、「あまねガード、三つ目ガード」を迂回して、遠回りしなければならなかった。</p> <p>この点については、どうなっているのか？ 調べてみてほしい。</p>	<p>ご指摘の通り、現在の計画では、沼津駅の改札付近に整備される南北自由通路は歩行者専用のもとなっております。したがって、鉄道高架化後においても、たとえバスやタクシーなどの公共交通機関であっても、自動車は駅の中心部を迂回して南北を通行していただくこととなります。</p> <p>しかしながら、沼津駅周辺整備事業が完成した際には、現在の三つ目・あまね・のぼり道の3つのガードは地上化して4車線道路となり、新たに（都）添地本田町線という南北をつなぐ道路が整備されることにより、交通環境が改善され、公共交通機関含め、自動車の南北交通がスムーズになることが見込まれます。</p> <p>また、公共交通機関を利用しやすい駅周辺の環境整備に向けて、駅南北のバスロータリーやタクシー乗降場の再編についてもあわせて検討してまいります。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
36	3-8	<p>現在着手後 20 年で完了予定となっている沼津駅周辺整備事業を半分の 10 年で実現するよう計画を再検討してほしい。</p> <p>また、とりわけ南北の自由通路を前倒し、完成までは改札の無料パスポートなどの配布を実施してほしい。</p>	<p>工事手順の再検討などにより、沼津駅周辺総合整備事業の完成までに要する期間を短縮できないかというご意見であると拝察いたしますが、鉄道高架化の早期完成を望む声として受けとめさせていただきます。</p> <p>現在、市では、早期完成に向け、国・県などの行政主体や JR 関連会社など関係者と密に協議を重ねながら、より少ない期間・資源・労力で事業の完成が達成できるよう、最適な手法・態様について鋭意検討を行いつつ推進にあたっております。</p> <p>また、ご指摘にある、既存の沼津駅構内施設を活用して通行するという方法につきましては、研究を行ったところ、運行管理上支障があることなどからいって、残念ながら難しいと考えております。ちなみに、一日も早く歩行者等の南北の自由な行き来を確保するため、鉄道高架事業の工程上では、高架化完成前に暫定的に仮設の自由通路を設け、一般の方に利用いただくことを予定しております。</p>	無
37	3-11	<p>リノベーションにより街中の拠点をもっと増やしてほしい。</p>	<p>本市では、空き家や空き店舗、空きビルなどの既存ストックについてリノベーション手法を活用することにより、遊休不動産の再生と雇用等を掛け合わせ、新たな産業振興と地域コミュニティを図る「リノベーションまちづくり」を推進しています。</p> <p>引き続きこうした取組を推進し、中心市街地の魅力向上を図っていきます。</p>	無
38	3-14	<p>沼津駅と沼津港だけのために EV バスを活用するのではなく、新幹線等へのアクセスとしての活用も検討してはどうか。</p>	<p>いただいたご意見については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
39	3-14	公共交通機関（特に路線バス；3社）の統合・再編などを模索し、路線バスの効率化と利便性の向上を図ってほしい。	<p>公共交通の確保・維持・改善を図るため、現在「沼津市地域公共交通網形成計画」の策定を進めています。</p> <p>バス事業者はドライバー不足が深刻化しており、運行しているバスを維持することが最優先となっていますが、今後は本計画に基づき、重複路線の解消やダイヤの調整などにより効率化を図り、サービス水準の向上に努めていきます。</p> <p>また、沼津駅南口バスターミナルや各バス停について待合環境などを見直し、わかりやすく使いやすい環境を整えるなど、公共交通の利便性の向上を図っていきます。</p>	無
40	4-4	富山市のようにお団子と串の都市構造を作り、まちなかの歩ける場所には、花や緑を確保し、魅力ある都市景観を形成すべきである。	<p>本市においても、コンパクト・プラス・ネットワーク型の都市構造の実現に向け、平成31年度に沼津市立地適正化計画を策定するとともに、多世代が公共交通により拠点間を容易に移動できる交通体系を実現するため、沼津市地域公共交通網形成計画の策定に取り組んでいるところです。これらの計画の下に、居住機能や都市機能の適正配置と、これらを有機的に繋ぐ公共交通の維持強化を図り、持続可能なまちづくりを展開していきます。</p> <p>また、本戦略では、「まちなか居住の促進と市街地環境の向上」を戦略の一つとして掲げおり、この実現にあたっては、魅力ある景観の形成は不可欠なものであると認識しております。これまで商業地や繁華街として形成されてきた市街地を、住まう場としても相応しい環境へと変えていくために、質の高いまちなみ景観の形成を進めていきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
41	4-4	沼津駅周辺（商業地域）の建蔽率・容積率を見直し、再開発を誘導してほしい。	<p>用途地域等の都市計画は、あるべき市街地像に対応した安定的な枠組みとして定めるものであり、この変更については、将来市街地像に変更が生じた場合や土地利用の動向、公共施設の整備状況等の把握を踏まえ見直すものです。</p> <p>また、都市計画施設の整備や市街地開発事業の実施等により、合理的な土地利用の実現が確実となった場合には、都市における都市計画上の課題に対応し、その健全な発展に資するよう、必要に応じて見直すこととしています。</p> <p>いただいたご意見については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無
42	4-4	ヒト中心の公共空間の創出と併せて、駅前広場（南北）などの地下を利用できるようにしてはどうか。（例；駐車場、防災倉庫など）	<p>いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無
43	－	沼津城をバーチャルで再現するなど歴史・文化を感じるまちなかにすることで居住人口を増やすとともに、市外へ出かけることを促進するための交通手段を確保できるよう配慮してほしい。	<p>いただいたご提案については、今後検討していく際の参考にさせていただきます。</p>	無
44	－	災害時に逃げることのできる防災拠点を形成し、地域の強靱化を図ってほしい。	<p>本戦略では、駅前広場を車中心から歩行者のための広場へと再編することとしています。歩行者のための駅前広場は、まちなかの貴重なオープンスペースとなることから、災害時における救援活動の拠点や一時的な避難場所等、様々な活用を想定しながら柔軟に対応できるよう検討していきます。</p>	無

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
45	ー	スマートシティを推進してほしい。	<p>ICT 等の新技術を活用しつつ、市民の利便性向上や地域経済の活性化、行政の効率化を図るスマートシティの実現に向けた取組が各地で進められており、今後もこうした動きは進展していくものと認識しています。</p> <p>今後の息の長いまちづくりの取組においては、技術革新の動向を注視し、人々にとって豊かな都市空間を形成していく観点から、これを積極的かつ柔軟に取り組んでまいります。</p>	無
46	4-34	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅲ：まちなか居住の促進と市街地環境の向上</p> <p>方策1：中心市街地にふさわしい都市型住宅の立地促進</p> <p>まちなか居住を促進するため、都市のスポンジ化を活用し市街地環境の向上を図ることは、魅力的な中心市街地に再生していくために必要な取組みである思う。</p> <p>少なくとも駅前広場に面するエリアには、今後、風営法に規定される娯楽施設等の立地は制限しておくべきであると思う。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、<4-14>、<4-34>に以下を追加します。</p> <p><4-14></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>質の高い空間の形成にあたっては、建築形態のルール化、地区計画等による用途制限、景観誘導の充実について検討します。</u> <p><4-34></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これらを実現するため、市街地環境を向上させるための建築形態のルール化、<u>地区計画等による用途制限、景観誘導の充実、駐車場施策など関連施策との連携、民間投資と促し質の高い建築を誘導するための支援制度について検討します。</u> 	有

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント				
番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
47	4-36	<p>第4章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅲ：まちなか居住の促進と市街地環境の向上</p> <p>方策2：スポンジ化に対応した市街地環境の向上</p> <p>「都市の余剰空間を活用した緑や憩いの空間の確保」や「街路空間の再構築」という記載があるが、分かりやすいイメージ図があると目指している方向性をより共有できると思う。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、図を追加します。</p>	有
48	4-14	<p>第1章 中心市街地まちづくりの4つの戦略</p> <p>戦略Ⅰ：ヒト中心の公共空間の創出</p> <p>中心市街地のまちづくりだけではないかもしれないが、今後、5Gなどのデジタル基盤の構築をはじめ、様々な新技術が実用化されていくことから、動向を注視するだけでなく、市内にある企業等とのコミュニケーションをとっていくなど、すぐにでも動き出したほうが良いのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、＜4-14＞に以下を追加します。</p> <p>＜4-14＞</p> <p>■実現にあたっての配慮事項</p> <p>・今後の息の長い取組プロセスにおいては、<u>5Gの普及による社会全体のデジタル化の進展や、交通・まちづくりに係る様々な新技術が実用化されていく可能性があります。これらの動向を注視し、ヒト中心のより豊かなまちづくりの実現に向け、その適用可能性を意識に置きながら、多様な関係者と</u>ともに検討を進めます。</p> <p>【検討の視点】</p> <p>・<u>全ての国民がデジタル化の恩恵を享受できる基盤である5Gの普及は、交通をはじめ医療、健康増進、観光振興、災害対策など様々な分野における社会的課題が解決できると期</u></p>	有

沼津市中心市街地まちづくり戦略（案）パブリックコメント

番号	頁	意見の概要	市の考え方・対応（案）	修正の有無
			<p>待されていることから、本市のヒト中心のまちづくりにI <u>o TやA Iなどの先端技術を活用する可能性について検討 していきます。</u></p>	